



令和2年3月5日（木）

令和元年度大田圏域地域保健医療対策会議

住民の「どうありたいか」を「つなげる」で実現する 地域包括ケア推進事業

令和元年度事業報告

しまね型医療提供体制構築事業

（島根県圏域課題解決推進事業）

病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター事業

（邑智郡医師会：徳祐会＋仁寿会）

社会医療法人仁寿会 加藤病院

理事長 加藤節司

上田裕一

地域包括ケアの目的

みなさんや
地域の人々が願う「どうしたい・ありたい」を「つながる」で実現する



労働長寿と生の全う-労【つとめ】る・労【いたわ】る・労【ねぎら】う

事業の取組状況 “病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へ 「誰でもつながられる」「誰もがつながる」ヘシフトチェンジ

「つながり先」

土の部分（介護予防・生活支援）	行政	医療介護 関連専門職	住民
4. 食事栄養支援 ① 邑智郡食事栄養支援協議会の運営支援 a 口腔ケアサポーター研修の実施 b 口腔ケアサポーター研修のケアマネ法定外研修登録 ② 大田圏域における食事栄養支援体制の構築支援 a 大田食支援研修会（大田食任会）支援：くちびるディング選手権 inサ高住「和かち逢う家」 ③ 摂食嚥下障害患者のフォローアップ（島根県後期高齢者歯科口腔健診：LEDO健診フォロー体制） a 地域包括口腔ケア会議の開催 （邑智歯科医師会＝郡内3町役場地域包括支援センター＝邑智郡総合事務組合） ④ 邑南町ボランティア養成講座への専門職出前講座実施 a 邑智歯科医師会：医師、邑智郡食事栄養支援協議会：管理栄養士による「食べること」についての講演	 ①b ②a ③a ④a	 ①a ①b ②a ③a ④a	 ②a ④a
5. 介護予防・研究事業支援 ① 大田市「通いの場整備事業」との連携 a 大田市内：まちづくりセンターへの専門職出前講座実施（15か所実施） ② 川本町「三原の郷未来塾」との連携 a 三原未来塾への専門職出前講座実施 ③ 研究事業への参加（食事栄養支援と認知症予防） a DHA・EPA配合牛乳の未成年者への健康効果を実証するためのヒト介入試験 b エゴマ油と天然物由来機能性物質の配合剤服用に関するヒト介入試験	 ①a ②a ③a ③b	 ①a ②a ③a ③b	 ①a ②a ③a ③b



事業の取組状況 “病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へ 「誰でもつながられる」「誰もがつながる」へシフトチェンジ

「つながり先」

葉っぱの部分（医療・看護、介護・リハビリテーション、保健・福祉）	行政	医療介護 関連専門職	住民
1. 救急から慢性期医療までの確保 ① 4病院連携協定を活用した取組みの継続 a 院内感染対策カンファレンス（大田市立病院＝加藤病院） b 医師相互派遣（石東病院＝加藤病院） c PICCトレーニング講習会（大田市立病院＝加藤病院） ② 圏域における医療・介護等の機能共有 a 邑智郡医師会医療連携推進コーディネーター配置事業：意見交換会（邑智病院＝邑智郡医師会） b 邑智郡医師会医療連携推進コーディネーター配置事業：邑智郡多職種研修会、郡内施設系事業所アンケート c 大田圏域多職種研修会（セラピストスキルシェア、スキルアップセンター研修会予定）		①a ①b ①c ②a ②b ②c	
2. 在宅医療の充実と支援体制の構築 ① 訪問看護サービスの利用促進 a 邑智郡医師会医療連携推進コーディネーター配置事業：ケアマネ啓発研修会「認知症意思決定支援」 ② 緩和ケア支援体制（邑智郡内での住民サロン拡大） a 住民サロン拡大のための意見交換会（おおなん元気サロン＝邑智郡3町役場：地域包括支援センター） ③ 地域のセミプロ養成体制の構築と未来医療人育成 a ボランティアとの連携（医療近接型住まい「穏」へのサービス提供機会創設、養成研修への協力） b 小～中～高～大学/専門学生～社会人フィールド研修の受入（川本エリア・大田エリア） c 認知症サポーターキャラバンの開催（川本：グループホームあいいいの家・大田：和かち逢う家）	②a ③a ③b ③c	①a ②a ③a ③b ③c	
3. ICTを活用した情報共有と連携 ① まめネット事業の利用事業者拡大支援 a 患者/利用者/入居者へのまめネット登録の啓発 b 大田市：ケアプラン交換サービス実証実験への協力 c まめネットWeb会議システムの活用 d 島根県医療IT専門部会への参加（島根県慢性期医療協会）	①a ①b ①c ①d	①b ①c ①d	①a



事業の取組状況 “病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へ 「誰でもつながられる」「誰もがつながる」ヘシフトチェンジ

「つながり先」

植木鉢の部分 (すまいとすまい方)	行政	医療介護 関連専門職	住民
6.病院や施設に代わる新たな療養場所の創設			
① 地域における医療介護関連施設の社会化推進 (地域住民や企業、行政事業との連携)			
a 大田市: サ高住「和かち逢う家」でのサロン活動 + 健康と音楽のコンサート開催	①a	①a	
b 大田市: サ高住「和かち逢う家」での定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの実施	①b	①b	
c 大田市: イワミ村田製作所外国人労働者診療支援連携 (仁寿診療所ながひさ)	①c	①c	
d 川本町: 医療近接型住まい「穏」でのボランティア連携実施 (通いやすいボランティアパイロット事業)	①d	①d	①d
e 川本町: 弓市快適化まちづくり連携「弓市まちづくりゾーン構想」方針決定 (川本町商工会連携)	①e	①e	①e

「つながり先」

お皿の部分 (本人の選択と本人・家族の心構え)	行政	医療介護 関連専門職	住民
7.本人の選択と本人・家族の心構え			
① 人生会議: 意思決定プロセスの場の創設			
a 加藤病院での人生会議実施		①a	①a
② オリジナルエンディングノート作成 (法律家慣習による医療・介護・行政とのコラボ)			
a おおなん元気サロンメンバーとの意見交換実施しノート案検討中	②a	②a	②a
③ おおなん元気サロンとの連携			
a 専門職による在宅療養を支えるための情報提供機会をつくる (訪問看護師による出前講座実施)	③a	③a	②a
b 子供へのがん教育推進 (川本中学校、桜江中学校へのサロン代表: 加山さん出前講座調整開始)	③b	③b	③b



まとめ “病院完結型医療”から“地域完結型医療介護”へ 「誰でもつながられる」「誰もがつながる」へシフトチェンジ

地域包括ケアシステムとは「その地域で“住もう”」
必要な（困った）時に欲しいもの（サービス）が選べ・使える地域であること



公助・共助・自助/互助を“つなげ”
今後も“使える選択肢を増やす”支援をさせていただきます

地域の課題を地域包括ケア取り組みイメージ“植木鉢図”へ落とし込む

医療介護連携推進

産業保健活動の推進

医療関連専門職育成

ICTの活用

特定・口腔機能健診推進

行政の取り組み・連携支援

食事栄養支援



医療介護水先案内人育成

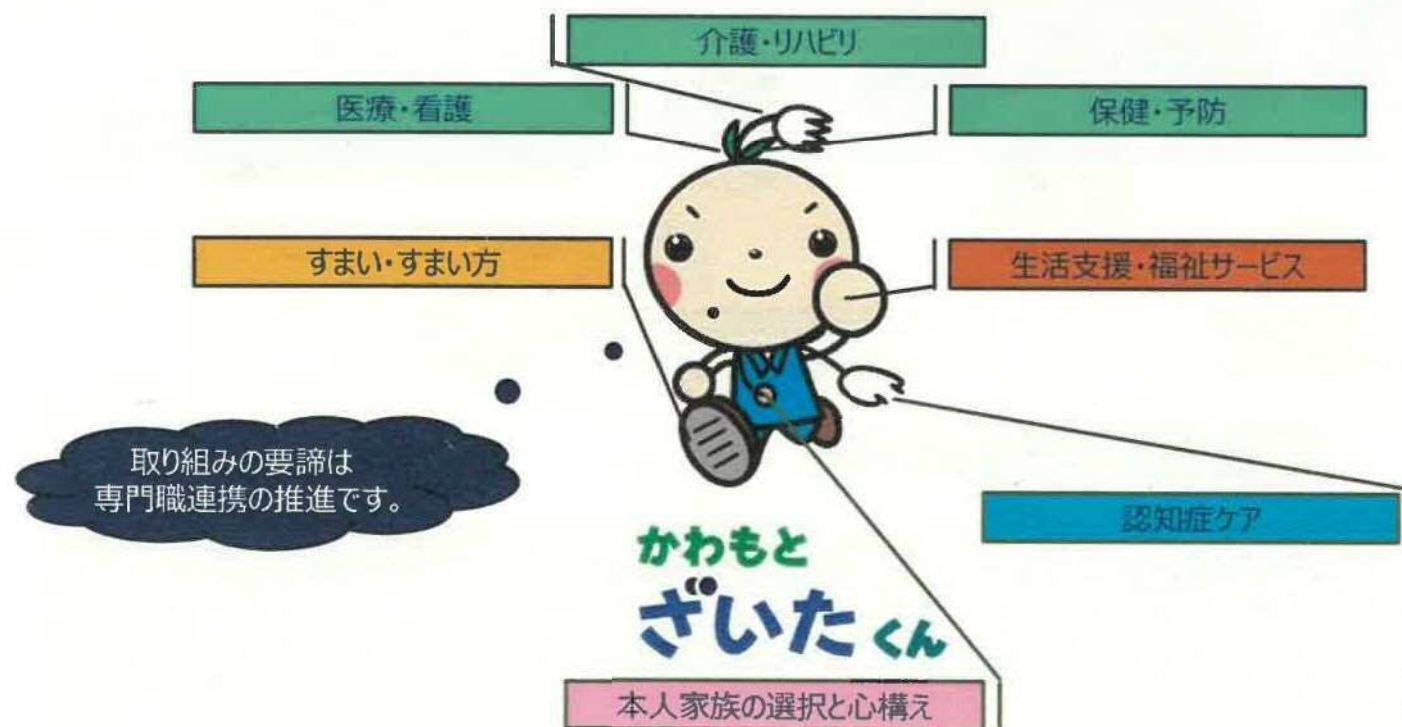
住環境・コミュニティの整備

新規・既存の社会資源活用

人生会議（アドバンス・ケア・システム）の普及・啓発



仁寿会地域包括ケア「植木あたま図」 COMMUNITY BASED INTEGRATED CARE SYSTEM



地域包括ケア植木鉢図



厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」より抜粋
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kai.go/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/

【社会医療法人仁寿会】住民の「どうあたいを専門職のつながりて実現する地域包括ケアの推進（総括表）及びしなほ型園課題解決推進事業での取り組み状況

Table with columns: 取組の目的, 内容, 取組年度 (R2, R3), 仁寿会とともに事業実施に取り組む団体, H29-R1取組実績, H29-R1取組による成果, 取り組みを踏まえた現在の課題 (R2年度事業実施における課題), R2 取組内容, R2地域課題解決推進事業での取組. Rows 1-17 detail various community care initiatives like 'I. How to connect with professionals', 'II. Achieving professional roles', and 'III. Connecting professionals'.